

## II 年間指導計画

**学校教育目標**  
 未来を元気に  
 ○未来を元気に生き抜く力の育成  
 ○「みんなが活き、活かされる」元  
 気な未来をつくる力の育成

**めざす学校像**  
 (1) 充実と活力のある学校 (目的・行動力・挑戦・達成感・満足感)  
 (2) みんなが活き、活かされる持続可能な学校  
 (3) 家庭・地域と共に歩む学校

いじめ対策委員会：  
 校長、教頭、生徒指導担当、各学年主任、養護教諭  
 \*状況に応じて関係職員等も含めて編成

**めざす生徒像**  
 (1) 南中生としての誇りを持ち、夢に向かって全力で挑み続ける生徒  
 (2) 自ら学び、考え、判断し、行動できる生徒  
 (3) 思いやりと感謝の心を持つ生徒  
 (4) 何事も一生懸命に最後までやり抜く生徒

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ対策委員会 ・指導方針の確認  職員会議 ※1	<学級開き>	※2	<p>1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。                  2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。                  3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。                  4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。                  5 SNSなどを利用したネットトラブルに対して未然防止の対策をとる。</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> <p>危機管理の心構え「さしすせそ」</p> <p>さ: 最悪を想定する                      し: 慎重に対処する                      す: 素早く対処する                      せ: 誠意を持って対処する                      そ: 組織全体で対処する</p> </div>
5月	保護者向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会 ※4	学級・学年づくり 人間関係づくり (修学旅行) (トライやるウィーク)	家庭訪問 ※3	
6月	いじめアンケート(市教委) ※4	(林間学校) ※5 生徒指導関連講演会	ハイパーQUアンケート 教育相談週間 個人面談・個人状況把握	
7月			三者面談 個人状況把握	
8月	いじめ対策委員会 ・情報共有	夏季研修	ハイパーQUの分析	
9月	職員会議	学級・学年づくり 人間関係づくり		
10月	いじめアンケート(市教委)	(体育大会) (文化祭)		
11月		※6	教育相談週間 個人面談・個人状況把握	
12月			三者面談・個人状況把握	
1月	いじめ対策委員会 ・情報共有 職員会議			
2月	いじめアンケート(学校独自)			
3月	いじめ対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正	次年度に向けクラスづくり → 道徳・特別活動計画に反映	教育相談週間 個人面談・個人状況把握	

※1 職員会議  
 いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。

※2 個人面談／個人状況把握  
 年度当初、各学期初めに個人面談を実施し、生活状況を把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。

※3 ハイパーQUアンケート  
 ハイパーQU調査を6月に実施し、個々の生徒の学校生活満足度やクラスの居心地の良さ等を把握し、必要な支援を継続的にし、生徒やクラスの変容に取り組む。

※4 保護者向け啓発／研修  
 ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。

※5 生徒指導関連講演会  
 昨今のソーシャルネットワークサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。

※6 学級・学年づくり／人間関係づくり  
 1学期、2学期の行事等を中心に、クラスや学年の人間関係づくりに努め、仲間意識を育む。

※保護者向け「いじめ・情報モラル」についての啓発・研修は、実態や状況に応じて実施する。